

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	志学Ⅰ		担当者	中村 学	科目必修区分	必修
授業概要	豊かな人間性を育成することを目的に、様々な事例をもとに「感謝」「思いやり気配り」「素直」「プラス思考」といった項目について知見を広げ、望ましい価値観や考え方を身に付け学校生活の中で実践し社会人となる意識を高める事を目的とする。					
到達目標	・相手を尊重した行動ができる ・不快感を与えない身だしなみを整えられる ・印象のよい挨拶ができる ・感謝の気持ちを意識した行動がとれる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	志学Ⅰ 背景・授業のねらい				1
	2	志学Ⅰ 序章 ねらい・学習目標				1
	3	志学Ⅰ 第1章 ～感 謝 (クレド1)～				2
	4	志学Ⅰ 第2章 ～感 動 (クレド2)～				1
	5	志学Ⅰ 第3章 ～思いやり ・ 気配り (クレド3)～				1
	6	志学Ⅰ 第4章 ～明 朗 (クレド4)～				1
	7	志学Ⅰ 第5章 ～挨 拶 (クレド5)～				1
	8	志学Ⅰ 第6章 ～素 直 (クレド6)～				1
	9	志学Ⅰ 第7章 ～プラス思考 (クレド7)～				1
	10	志学Ⅰ 第8章 ～チャレンジ精神 (クレド8)～				1
	11	志学Ⅰ 第9章 ～永久戦力 (クレド9)～				1
	12	志学Ⅰ まとめ、振り返り				3
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	KBC学園 志学Ⅰ・Ⅱ					
時間外 学習	・授業内の各種事例を深く掘り下げる					
	・同様事例を独自に情報収集する					
成績評価 方法	出席率20p・授業態度20p・毎回の授業レポート60pとし、学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	特別活動演習		担当者	中村 学	科目必修区分	必修
授業概要	教育理念に掲げる「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付けています。					
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	【新入生オリエンテーション】 学生便覧の読み合わせ、副校長講話、フィールドワークなど				17
	2	【ビーチパーティ】 大原・エルケア・kbc合同のビーチパーティ(場所:美らサンビーチ)				6
	3	【親睦会】 大原・エルケア・kbc合同の全体スポーツ大会(場所:那覇市民体育館)				6
	4	【前期ロングホームルーム】 振り返り、大掃除				1
	5	【後期ロングホームルーム】 目標設定、アイスブレイク、振り返り、大掃除				1
	6	【センスアップセミナー(集団面接試験対策)】 自己PR・分析、集団面接練習				4
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
		科目単位数			1	合計時間数
教科書						
時間外学習	各授業・行事においての事前準備や調べ学習を指示。					
	前後の各実施委員会活動					
成績評価方法	各授業・行事終了後のレポートでの到達目標達成度にて評価を行う					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介	税理士事務所歴4年・経理、総務事務歴1年					

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	簿記学基礎	担当者	中村 学	科目必修区分	必修
授業概要	世の中にある全ての会社は「お金」が関わります。本講義では、複式簿記の基本的な会計処理と記帳方法、決算処理を習得し、会社が「お金」を正しく管理できるよう簿記の役割を認識することを目的とします。				
到達目標	複式簿記を用いて金銭の流れを把握し、損益計算書及び貸借対照表を作成することができる。日商簿記検定3級を合格できる能力を身につけることができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
1	オリエンテーション 第1章 簿記の目的 第2章 簿記一巡(第1節～第4節)				6
2	第3章 商品売買Ⅰ 第4章 商品売買Ⅱ				4
3	第5章 現金及び預金 第6章 手形				6
4	第7章 有形固定資産 第8章 その他の債権および債務				6
5	第9章 税金 第10章 その他の勘定および訂正仕訳 第11章 株式会社の資本				6
6	第1回確認テスト(60分)				2
7	第12章 決算				6
8	第12章 決算 第13章 その他の決算整理				6
9	第3章 商品売買Ⅰ 第10章 その他の勘定および訂正仕訳 第13章 その他の決算整理(第1節～第3節)				6
10	第13章 その他の決算整理(第4節～第8節)				6
11	第2回確認テスト(60分) 試算表対策				2
12	基礎授業2回転目 第4章 商品売買Ⅱ、第8章 その他の債権債務、第9章 税金 第13章 消費税 第10章 訂正仕訳				6
13	第11章 株式会社の資本、第12章 決算 第13章 その他の決算整理				6
14	第14章 損益計算書および貸借対照表				12
15	第15章 主要簿と補助簿				10
16	第16章 伝票会計				4
	科目単位数		4	合計時間数	94
教科書	資格の大原 簿記講座 ALFA3級商業簿記 テキスト・問題集				
時間外学習	復習:授業当日に実施した範囲のテキスト範例の解き直し及び次回ミニテスト対策。(20分程度)				

成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価		
	学校基準により4段階評価とする		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	演習		講義時期	前期
授業科目	簿記学演習		担当者	中村 学		科目必修区分	必修
授業概要	世の中にある全ての会社は「お金」が関わります。本講義では、複式簿記の基本的な会計処理と記帳方法、決算処理を習得し、会社が「お金」を正しく管理できるよう簿記の役割を認識することを目的とします。						
到達目標	複式簿記を用いて金銭の流れを把握し、損益計算書及び貸借対照表を作成することができる。日商簿記検定3級を合格できる能力を身につけることができる。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	項目別答練(商品売買・固定資産・精算表)					2
	2	項目別答練(その他の債権債務・精算表)					2
	3	項目別答練(貸倒、現金過不足、株式会社資本・精算表)					2
	4	項目別答練(税金、訂正仕訳・精算表)					2
	5	項目別答練(勘定記入・財務諸表)					2
	6	項目別答練(帳簿)					2
	7	項目別答練(商品有高帳)					2
	8	項目別答練(伝票)					2
	9	日商直前模試 第1回					3
	10	日商直前模試 第2回					3
	11	日商直前模試 第3回					3
	12	日商直前模試 第4回					3
	13	試験に出る問題集 総合問題①					3
	14	試験に出る問題集 総合問題②					3
		科目単位数		2	合計時間数		34
教科書	資格の大原 簿記講座 ALFA3級商業簿記 テキスト・問題集						
時間外学習	復習:授業当日に実施した範囲のテキスト範例の解き直し及び次回ミニテスト対策。(20分程度)						
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	商業会計Ⅰ入門		担当者	上原 千佳	科目必修区分	必修
授業概要	「簿記学基礎」「簿記学演習」の履修を前提に、本講義では企業における取引の記録・計算・整理に関するより高度な知識と技術を習得し、簿記の本質的な仕組みについて認識することを目的とします。					
到達目標	あらゆる取引を正確に記帳し、損益計算書及び貸借対照表を作成することができる。 全経簿記検定2級を合格できる能力を身につけることができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	ガイダンス、第3章 棚卸資産				4
	2	第5章 債権・債務等(第1節、第3節)				6
	3	第6章 有価証券(第1節1～3)				2
	4	第7章 固定資産(第1節1～4、第2節)				4
	5	第8章 為替換算会計(第1節)				2
	6	第9章 引当金(第1節1、6、7)				1
	7	第11章 株式会社の純資産(第1節、第2節)				2
	8	第15章 本支店会計(第1節、第2節)				3
	9	検定試験対策				16
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	合計時間数	科目単位数			2	合計時間数
教科書	資格の大原 簿記講座 ALFA2級商業簿記 テキスト・問題集、全経簿記検定過去問題集					
時間外学習	復習:授業当日に実施した範囲のテキスト範例の解き直し及び次回ミニテスト対策。(20分程度)					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介	税理士事務所歴4年・経理、総務事務歴1年					

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	商業会計Ⅰ 基礎		担当者	上原 千佳	科目必修区分	必修
授業概要	「商業会計Ⅰ 入門」の履修を前提に、本講義では企業における取引の記録・計算・整理に関するより高度な知識と技術を習得し、簿記の本質的な仕組みについて認識することを目的とします。					
到達目標	あらゆる取引を正確に記帳し、損益計算書及び貸借対照表を作成することができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章 総論				12
	2	第2章 収益と費用				10
	3	第5章 債権・債務等(第1節2、4、第2節)				16
	4	第7章 固定資産(第1節5～7、10～12、第3節～第5節)				24
	5	第9章 引当金(第1節1、5、8)				4
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
				科目単位数	4	合計時間数
教科書	資格の大原 簿記講座 ALFA2級商業簿記 テキスト・問題集					
時間外学習	復習:授業当日に実施した範囲のテキスト範例の解き直し及び次回ミニテスト対策。(20分程度)					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		税理士事務所歴4年・経理、総務事務歴1年				

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	工業原価Ⅰ		担当者	中村 学	科目必修区分	必修
授業概要	製造業における記帳の導入部分と位置づけ、現場の経理担当者として工程管理のための実際原価に基づく帳簿を作成し、管理する能力を身に付ける。					
到達目標	・材料、労務費、経費の消費額の計算と記帳ができる。 ・製造間接費の配賦計算及び記帳ができる。 ・総合原価計算の生産形態を説明でき、月末仕掛品・完成品の原価を計算できる。 ・個別原価計算の生産形態を説明でき、指図書別の原価計算ができる。 ・全経簿記能力検定2級工業簿記に合格することができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章 工業簿記の基礎、第2章 工業簿記の記帳体系 -個別原価計算-				2
	2	第3章 材料費会計(第1節～第3節3)				2
	3	第4章 労務費会計(第1節～第3節3)				2
	4	第5章 経費会計				1
	5	第6章 製造間接費会計(第1節～第2節1)				2
	6	第8章 単純個別原価計算(第1節1)				1
	7	第12章 総合原価計算 -単純総合原価計算-(第1節～第3節3)				3
	8	全経簿記検定2級過去問題演習				4
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	合計時間数	科目単位数			1	合計時間数
教科書	大原簿記学校 ALFA2級工業簿記 テキスト・問題集					
時間外学習	予習:テキストの次回学習範囲に目を通す。(15分程度)					
	復習:授業当日に実施した範囲のテキストの範例及び実施問題の解き直し(1時間程度)					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	商業会計Ⅱ 基礎		担当者	上原 千佳	科目必修区分	必修
授業概要	「商業会計Ⅰ 入門」「商業会計Ⅰ 基礎」の履修を前提に、本講義では、連結会計等の多様な企業体系における会計手法や貿易取引、情報取引等の複雑化する商取引を学習し関連諸法令に則った処理が出来る事を目的とします。					
到達目標	発生した取引を論理的な思考で展開し、財務諸表を作成することができる。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	まとめ問題				2
	2	第8章 為替換算会計(第2節)				2
	3	第9章 引当金(第1節1～3)、精算表作成				3
	4	第10章 法人税等、試算表作成				5
	5	第11章 株式会社の純資産(第3～4節)、財務諸表作成				3
	6	第12章 企業結合、第13章 株主資本等変動計算書				3
	7	第14章 連結会計(第1～4節)				6
	8	第14章 連結会計(第5～7節)				10
	9	第15章 本支店会計				5
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	資格の大原 簿記講座ALFA 2級商業簿記テキスト・問題集					
時間外学習	授業時間内実施演習の解き直し(60分程度)					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		税理士事務所歴4年・経理、総務事務歴1年				

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	商業会計Ⅱ 演習		担当者	上原 千佳	科目必修区分	必修
授業概要	「商業会計Ⅱ 基礎」の履修を前提に、本講義では、連結会計等の多様な企業体系における会計手法や貿易取引、情報取引等の複雑化する商取引を学習し関連諸法令に則った処理が出来る事を目的とします。					
到達目標	発生した取引を論理的な思考で展開し、財務諸表を作成することができる。 日商簿記検定2級を合格できる能力を身につけることができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	演習答練				15
	2	第1回直前対策模擬試験、解答解説				4
	3	第2回直前対策模擬試験、解答解説				4
	4	第3回直前対策模擬試験、解答解説				4
	5	第4回直前対策模擬試験、解答解説				4
	6	第5回直前対策模擬試験、解答解説				4
	7	第6回直前対策模擬試験、解答解説				4
	8	ネット試験対策				6
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
			科目単位数	3	合計時間数	45
教科書	資格の大原 簿記講座ALFA 2級商業簿記テキスト・問題集・試験に出る問題集・模擬試験					
時間外学習	授業時間内実施演習の解き直し(60分程度)					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		税理士事務所歴4年・経理、総務事務歴1年				

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	工業原価Ⅱ		担当者	中村 学	科目必修区分	必修
授業概要	より厳密な原価計算の知識と技術を習得し、それに加えて管理会計(原価計算・戦略的コストマネジメント)について学び、その理解と実践力を身に付けさせる。					
到達目標	企業における管理会計情報の利用(損益分岐分析・業務的及び構造的的意思決定)ができること。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	工業簿記Ⅰの復習(第1章 総論)				1
	2	工業簿記Ⅰの復習(第1章 材料)				3
	3	工業簿記Ⅰの復習(第1章 労務費・経費)				4
	4	工業簿記Ⅰの復習(第1章 製造間接費)				5
	5	工業簿記Ⅰの復習(第1章 個別原価計算)				3
	6	工業簿記Ⅰの復習(第1章 単純総合原価計算)				3
	7	材料の投入形態				2
	8	総合原価計算の仕損・減損				8
	9	工程別総合原価計算				3
	10	組別総合原価計算				2
	11	等級別総合原価計算				2
	12	標準原価計算の概要				2
	13	標準原価計算 勘定記入				2
	14	標準原価計算 差異分析直接材料費・直接労務費				3
	15	標準原価計算 差異分析製造間接費				4
	16	CVP分析				5
	17	全部原価計算と直接原価計算				4
	18	固定費調整				2
	19	固定費分解				2
	20	工場会計				2
	21	部門別原価計算				4
	22	個別原価計算の仕損				2
	23					
	24					
	25					
	26					
	科目単位数			4	合計時間数	68
教科書	大原簿記学校 ALFA2級工業簿記 テキスト・問題集					
時間外 学習	予習:テキストの次回学習範囲に目を通す。(15分程度)					
	復習:その日にやった範囲のテキストの例題の確認。(15分程度)					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	簿記論入門		担当者	中村 学	科目必修区分	必修
授業概要	複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織の知識を元に、財務諸表作成の基礎となる企業の取引を会計帳簿に記録する方法の習得を目的とする。					
到達目標	企業の取引を識別・分類・計算し、取引の仕訳や財務諸表の作成ができる。 資格の大原主催のミニテストにおいて、全国平均点以上を獲得することができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	ガイダンス、第1章 簿記の概要 I (一部)				4
	2	第1章 簿記の概要 I (一部)、第2章 現金預金 I、第3章 債権債務 I、第4章 商品売買 I				5
	3	第5章 固定資産 I、第6章 ソフトウェア I				5
	4	第2章 現金預金 I、第7章 貸倒れ I、第8章 給料等 I				6
	5	第8章 給料等 I、第9章 税金 I、第10章 純資産 I				7
	6	第3章 債権債務 I、第11章 退職給付会計 I、第12章 社債 I				6
	7	第1回確認テスト(100分)、採点・見直し				4
	8	第4章 商品売買 I、第12章 社債 I、第13章 現在価値計算 I				6
	9	第2章 現金預金 I、第4章 商品売買 I、第5章 固定資産 I				6
	10	第14章 税効果会計 I、第15章 有価証券 I				6
	11	第12章 社債 I				6
	12	第4章 商品売買 I、第10章 純資産 I				6
	13	第10章 純資産 I、第15章 有価証券 I、第16章 保険金 I				6
	14	第7章 貸倒れ I、第17章 減損会計 I、第18章 繰延資産 I				6
	15	第2回確認テスト(120分)、採点・見直し				4
		科目単位数			4	合計時間数
教科書	資格の大原 税理士講座「簿記論」 テキスト・問題集					
時間外学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す 講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	ライフプランニングと資産設計 I		担当者	落合 隆一	科目必修区分	必修
授業概要	ファイナンシャル・プランナー(FP)として社会保険制度の基礎知識を身に付けます。またキャッシュフロー表や個人バランスシートを作成することで実践的な知識とスキルを習得します。					
到達目標	・社会保険の仕組みについて正確に説明できる。 ・住宅ローンの返済方法や繰上返済について正確に説明できる。 ・キャッシュフロー表や個人バランスシートを作成できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1節 FPとライフプランニング				1
	2	第2節 教育・住宅取得資金計画				1
	3	第3節 社会保険				3
	4	第4節 公的年金制度				2
	5	第5節 老後の生活資金設計と公的年金				2
	6	第6節 公的年金における障害給付				2
	7	第7節 公的年金における遺族給付				2
	8	第9節 ライフプランニングの考え方				2
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	科目単位数			1	合計時間数	15
教科書	はじめてまなぶFP技能士3級テキスト・問題集 大原出版株式会社					
時間外学習	スマートフォンを使用して項目別問題に取り組む。(サイトは授業中に指示する。)					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	リスク管理 I		担当者	落合 隆一	科目必修区分	必修
授業概要	ファイナンシャル・プランナー(FP)として生命保険や損害保険に関する基礎知識を習得します。保険証券の読み取りや保険料の経理処理を学習することで実践的な知識とスキルを身に付けます。					
到達目標	・生命保険と損害保険商品の種類と内容について正確に説明できる。 ・保険料の経理処理について正確に仕訳することができる。 ・生命保険証券を正確に読み取ることで、給付される保険金を計算できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1節 リスクマネジメント				1
	2	第2節 保険制度全般				2
	3	第3節 生命保険の概略				2
	4	第4節 生命保険商品の種類と内容				3
	5	第5節 損害保険の概略				1
	6	第6節 損害保険商品の種類と内容				2
	7	第7節 個人・法人の契約に関する税金				1
	8	第8節 法人の契約に関する税金				2
	9	第9節 第三分野の保険・共済				1
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
		科目単位数			1	合計時間数
教科書	はじめてまなぶFP技能士3級テキスト・問題集 大原出版株式会社					
時間外学習	スマートフォンを使用して項目別問題に取り組む。(サイトは授業中に指示する。)					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	金融資産運用 I		担当者	落合 隆一	科目必修区分	必修
授業概要	ファイナンシャル・プランナー(FP)として債券や株式、投資信託に関する基礎的な金融知識を習得します。金利変動のメカニズムや利回りについて学習することで実践的な知識とスキルを身に付けます。					
到達目標	・金利の上昇や下降に関するプロセスについて正確に説明できる。 ・債券の利回りや株式の投資指標について計算できる。 ・投資信託の概要や費用について正確に説明できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1節 マーケット環境の理解				2
	2	第3節 債権				2
	3	第4節 株式				2
	4	第5節 投資信託				2
	5	第6節 外貨建て商品				2
	6	第8節 ポートフォリオ運用				2
	7	第9節 金融商品と税金				2
	8	第10節 セーフティネット				1
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
		科目単位数		1	合計時間数	15
教科書	はじめてまなぶFP技能士3級テキスト・問題集 大原出版株式会社					
時間外学習	スマートフォンを使用して項目別問題に取り組む。(サイトは授業中に指示する。)					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	タックスプランニング I		担当者	落合 隆一	科目必修区分	必修
授業概要	ファイナンシャル・プランナー(FP)として所得税の仕組みと計算体系についての基礎知識を習得します。また所得控除や確定申告について学習することで実践的な知識とスキルを身に付けます。					
到達目標	・各種所得金額の算出から納付税額まで正確に計算できる。 ・学生自身の将来をイメージして所得控除額を計算できる。 ・源泉徴収票を正確に読み取ることができる。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	第1節 税金の分類と計算体系				1
	2	第2節 所得税の仕組み				1
	3	第3節 各種所得の内容①				2
	4	第3節 各種所得の内容②				2
	5	第3節 各種所得の内容③				2
	6	第4節 課税標準の計算				2
	7	第5節 所得控除①				2
	8	第5節 所得控除②				1
	9	第6節 税額控除				1
	10	第7節 確定申告				1
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
				科目単位数	1	合計時間数
教科書	はじめてまなぶFP技能士3級テキスト・問題集 大原出版株式会社					
時間外学習	スマートフォンを使用して項目別問題に取り組む。(サイトは授業中に指示する。)					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	不動産Ⅰ		担当者	落合 隆一	科目必修区分	必修
授業概要	ファイナンシャル・プランナー(FP)として建築基準法や都市計画法、区分所用法などについての基礎知識を習得します。さらに不動産に係る税金について学習することで実践的な知識とスキルを身に付けます。					
到達目標	・不動産売買の指標となる価格や税金算出の基礎となる価格について説明できる。 ・建築基準法に従って、土地に建物を構築する場合の建築面積と床面積の合計を計算できる。 ・不動産の取得や保有に係る税金について正しく理解できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1節 不動産の見方				3
	2	第2節 不動産の取引				3
	3	第3節 不動産に関する法令上の制限①(都市計画法)				2
	4	第3節 不動産に関する法令上の制限②(建蔽率)				2
	5	第3節 不動産に関する法令上の制限③(容積率)				2
	6	第4節 不動産に係る税金				2
	7	第5節 不動産の有効活用				1
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
			科目単位数	1	合計時間数	15
教科書	はじめてまなぶFP技能士3級テキスト・問題集 大原出版株式会社					
時間外学習	スマートフォンを使用して項目別問題に取り組む。(サイトは授業中に指示する。)					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	相続・事業継承 I		担当者	落合 隆一	科目必修区分	必修
授業概要	ファイナンシャル・プランナー(FP)として相続や贈与に関する法律や税金についての基礎知識を習得します。また法定相続や遺産分割、相続税や贈与税の計算方法を学習することで実践的な知識とスキルを身に付けます。					
到達目標	・相続の方法や放棄、贈与の種類について正確に説明できる。 ・親族関係図から民法上の相続人になる人物、および法定相続分を正確に計算できる。 ・相続税や贈与税の計算体系を理解し、正しい納付税額を算出できる。					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	第1節 相続と法律				2
	2	第1節 遺産分割				2
	3	第2節 贈与と法律				1
	4	第3節 贈与と税金				3
	5	第4節 相続と税金				2
	6	第4節 相続税の計算				1
	7	第5節 財産の評価(不動産)				2
	8	第6節 財産の評価(金融資産)				1
	9	第7節 相続対策				1
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
			科目単位数	1	合計時間数	15
教科書	はじめてまなぶFP技能士3級テキスト・問題集 大原出版株式会社					
時間外学習	スマートフォンを使用して項目別問題に取り組む。(サイトは授業中に指示する。)					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	演習	講義時期	前期
授業科目	FP演習 I		担当者	落合 隆一	科目必修区分	必修
授業概要	ファイナンシャル・プランナー(FP)としての各理論(保険、金融、税金、不動産、相続)を学習することで、住宅・教育ローン、年金や社会保険、土地や建物に関する幅広い分野の基礎知識を習得し、実生活にて起こりえる様々な問題を解決できる実践的な知識とスキルを身に付けます。					
到達目標	・生命保険証券を正確に読み取ることで、給付される保険金を計算できる。 ・建築基準法に従って、土地に建物を構築する場合の建築面積と床面積の合計を計算できる。 ・親族関係図から民法上の相続人になる人物、および法定相続分を正確に計算できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	学科問題一過去問題集(過去6回分)				20
	2	実技問題一過去問題集(過去6回分)				20
	3	学科問題一予想問題(4回分)				20
	4	実技問題一予想問題(4回分)				20
	5	添削問題				4
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
		科目単位数			4	合計時間数
教科書	はじめてまなぶFP技能士3級テキスト・過去問題集・予想問題 大原出版株式会社					
時間外学習	スマートフォンを使用して項目別問題に取り組む。(サイトは授業中に指示する。)					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制1年		授業方法	演習・講義	講義時期	後期
授業科目	PCビジネス活用 I		担当者	中村 学	科目必修区分	必修
授業概要	現代のビジネス社会では文字を使用したコミュニケーションが多くなっています。対面や電話からメールやSNSが主流である今、タイピング速度が業務効率に与える影響は多大なものになっています。本講義では、タイピング速度を上げていくことに特化し、タイピングスキルの向上を図っていきます。					
到達目標	授業開始時と比べて入力速度と正確性を向上させ、ブラインドタッチができるようになる。 ミスなくブラインドタッチで10分間に350文字以上を入力できるようになる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	ガイダンス、コンピュータの基本操作				2
	2	タイピング練習(導入)				2
	3	タイピング練習(導入)				2
	4	タイピング練習(文書入力スピード検定過去問題演習)				2
	5	タイピング練習(文書入力スピード検定過去問題演習)				2
	6	タイピング練習(文書入力スピード検定過去問題演習)				2
	7	タイピング練習(文書入力スピード検定過去問題演習)				2
	8	タイピング練習(文書入力スピード検定過去問題演習)				2
	9	タイピング練習(文書入力スピード検定過去問題演習)				2
	10	タイピング練習(文書入力スピード検定過去問題演習)				2
	11	タイピング練習(文書入力スピード検定過去問題演習)				2
	12	タイピング練習(文書入力スピード検定過去問題演習)				2
	13	タイピング練習(文書入力スピード検定過去問題演習)				2
	14	タイピング練習(文書入力スピード検定過去問題演習)				2
	15	タイピング練習(文書入力スピード検定過去問題演習)				2
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
				科目単位数	2	合計時間数
教科書	文書入力スピード認定試験日本語 過去問題					
時間外学習	授業時間内未消化問題の演習					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	講義	講義時期	
授業科目	財務諸表論入門		担当者	中村 学	科目必修区分	
授業概要	企業会計原則や国際会計基準をはじめとする各種会計基準を学ぶ。簿記で学んだ処理の取ると同時に決算書のあるべき論を考える。					
到達目標	企業会計原則の一般原則、貸借対照表原則、損益計算書原則の各重要条文についての説明できる。					
授業計画	内 容					
	1	財務諸表作成の基礎、見越し・繰延べ、債権債務				
	2	財務諸表作成の基礎、個別注記表、関係会社概念、現金預金、棚卸資産				
	3	貸し倒れ、企業会計の意義と領域				
	4	現金預金(当座取引)、貸倒(破産更生債権・貸倒懸念債権)、会計公準				
	5	債権債務に係る注記、棚卸資産(値引・返品・割戻)、給与、退職給付、一般原則				
	6	有形固定資産(期中取引)、株主資本、一般原則				
	7	損益計算書に関する注記、重要性の原則				
	8	法人税、住民税及び事業税、有価証券・社債、現金主義・発生主義				
	9	無形固定資産、自己株式、期間損益計算の基本原則				
	10	源泉所得税、租税公課、有価証券、社債、費用収益対応の原則、売上高				
	11	税効果会計、売上高(工事契約、継続的役務提供、貸借対照表の表示原則)				
	12	重要な後発事象に関する注記、ソフトウェア、株主資本等変動計算書、会計観				
	13	会計とは、会計公準				
	14	企業会計原則 一般原則				
	15	企業会計原則 損益計算書原則				
	16	企業会計原則 貸借対照表原則				
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
		27				
		28				
		29				
		30				
		31				
		32				
33						
	科目単位数		2	合計時間数		
教科書	大原簿記学校 財務諸表論理論テキストⅠⅡ、計算テキストⅠⅡ					
時間外学習	予習:テキストの次回学習範囲に目を通す。(15分程度)					
	復習:その日にやった範囲のテキストの例題の確認。(15分程度)					

成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価		
	学校基準により4段階評価とする		
担当詳細	教員	備考	
実務経験紹介			

[illegible]

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 1年		授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	職業実践演習		担当者	上原 千佳	科目必修区分	必修
授業概要	本講義は、就職活動の基礎を整えることを目的としている。必ずしも税理士業界のみをゴールとするのではなく、会計知識を武器に社会でどう貢献したいか、自分自身のキャリアデザインを客観的に見つめ直す。センスアップセミナー(模擬面接)では、基本動作に加え、面接は台本の暗唱ではない「双方向の会話形式」での対話力を養う。					
到達目標	・就職試験の際の基本動作ができる。 ・事前に提示された質問事項に対して、会話形式で受け答えができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション、自己分析ワーク				4
	2	模擬面接演習1～9				18
	3	履歴書作成				3
	4	センスアップセミナー(模擬面接)				4
	5	振り返り評価				1
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
		科目単位数			2	合計時間数
教科書						
時間外学習	自己分析シートを完成し、模擬面接の自主練習をする。					
成績評価方法	センスアップセミナー(模擬面接)に出席し評価をもらう					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	簿記論速習総合 I		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織の知識を元に、財務諸表作成の基礎となる企業の取引を会計帳簿に記録する方法の習得を目的とする。					
到達目標	企業の取引を識別・分類・計算し、取引の仕訳や財務諸表の作成ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1回実力判定公開模擬試験				10
	2	第2回実力判定公開模擬試験				10
	3	第3回実力判定公開模擬試験				10
	4	第4回実力判定公開模擬試験				10
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	財務諸表論速習総合 I		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	会計原理・企業会計原則・企業会計の諸基準・会社法・会社計算規則等の知識を元に、報告書として作成する財務諸表の作成方法及び考え方の習得を目的とする。					
到達目標	規則に基づいた構成要素の分類・用語・様式によって企業外部へ報告するための財務諸表を作成できる。財務諸表に示された数字の分類及び各構成要素について解釈できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1回実力判定公開模擬試験				10
	2	第2回実力判定公開模擬試験				10
	3	第3回実力判定公開模擬試験				10
	4	第4回実力判定公開模擬試験				10
		科目単位数		2	合計時間数	40
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	簿記論速習総合Ⅱ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織の知識を元に、財務諸表作成の基礎となる企業の取引を会計帳簿に記録する方法の習得を目的とする。					
到達目標	企業の取引を識別・分類・計算し、取引の仕訳や財務諸表の作成ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	直前対策講義				12
	2	過去問演習				17
	3	第1回直前対策模擬試験				6
	4	第1回プレ模擬試験				6
	5	第2回直前対策模擬試験				6
	6	第2回プレ模擬試験				6
	7	第3回直前対策模擬試験				6
	8	ヤマ当て講義				6
		科目単位数			4	合計時間数
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	財務諸表論速習総合Ⅱ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	会計原理・企業会計原則・企業会計の諸基準・会社法・会社計算規則等の知識を元に、報告書として作成する財務諸表の作成方法及び考え方の習得を目的とする。					
到達目標	規則に基づいた構成要素の分類・用語・様式によって企業外部へ報告するための財務諸表を作成できる。財務諸表に示された数字の分類及び各構成要素について解釈できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	直前対策講義、過去問演習				12
	2	直前対策講義、過去問演習				12
	3	第1回直前対策模擬試験				6
	4	第1回プレ模擬試験				6
	5	第2回直前対策模擬試験				6
	6	第2回プレ模擬試験				6
	7	第3回直前対策模擬試験				6
	8	ヤマ当て講義				11
		科目単位数	4	合計時間数	65	
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	簿記論速習総合Ⅲ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織の知識を元に、財務諸表作成の基礎となる企業の取引を会計帳簿に記録する方法の習得を目的とする。					
到達目標	企業の取引を識別・分類・計算し、取引の仕訳や財務諸表の作成ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	全国統一公開模擬試験				10
	2	第1回直前予想模擬試験				10
	3	第2回直前予想模擬試験				10
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	財務諸表論速習総合Ⅲ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	会計原理・企業会計原則・企業会計の諸基準・会社法・会社計算規則等の知識を元に、報告書として作成する財務諸表の作成方法及び考え方の習得を目的とする。					
到達目標	規則に基づいた構成要素の分類・用語・様式によって企業外部へ報告するための財務諸表を作成できる。財務諸表に示された数字の分類及び各構成要素について解釈できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	全国統一公開模擬試験				10
	2	第1回直前予想模擬試験				10
	3	第2回直前予想模擬試験				10
		科目単位数		2	合計時間数	30
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	簿記論基礎Ⅰ-Ⅰ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織の知識を元に、財務諸表作成の基礎となる企業の取引を会計帳簿に記録する方法の習得を目的とする。					
到達目標	企業の取引を識別・分類・計算し、取引の仕訳や財務諸表の作成ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	ガイダンス、第1章簿記の概要Ⅰ				4
	2	第1章簿記の概要Ⅰ、第2章現金預金Ⅰ、第3章債権債務Ⅰ 第4章商品売買Ⅰ				4
	3	第5章固定資産Ⅰ、第6章ソフトウェアⅠ				4
	4	第2章現金預金Ⅰ、第7章貸倒れⅠ、第8章給料等Ⅰ				4
	5	第8章給料等Ⅰ、第9章税金Ⅰ、第10章純資産Ⅰ				5
	6	第3章債権債務、第11章退職給付会計Ⅰ、第12章社債Ⅰ				5
	7	第1回確認テスト				5
		科目単位数		2	合計時間数	
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	財務諸表論基礎Ⅰ－Ⅰ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	会計原理・企業会計原則・企業会計の諸基準・会社法・会社計算規則等の知識を元に、報告書として作成する財務諸表の作成方法及び考え方の習得を目的とする。					
到達目標	規則に基づいた構成要素の分類・用語・様式によって企業外部へ報告するための財務諸表を作成できる。財務諸表に示された数字の分類及び各構成要素について解釈できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	ガイダンス、第1章財務諸表作成の基礎Ⅰ、第3章債権債務				4
	2	第1章財務諸表作成の基礎、第2章現金及び預金、第3章債権債務 第4章棚卸資産Ⅰ				4
	3	第9章 貸倒れⅠ				4
	4	第2章現金及び預金、第9章貸倒れⅠ、第10章給料等				4
	5	第3章債権債務、第5章棚卸資産Ⅱ、第11章退職給付会計Ⅰ 第12章その外				5
	6	第6章固定資産Ⅰ、第18章株主資本Ⅰ				5
	7	第1回確認テスト、第1章財務諸表作成の基礎				5
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	簿記論基礎Ⅰ－Ⅱ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織の知識を元に、財務諸表作成の基礎となる企業の取引を会計帳簿に記録する方法の習得を目的とする。					
到達目標	企業の取引を識別・分類・計算し、取引の仕訳や財務諸表の作成ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第4章商品売買Ⅰ、第12章社債、第13章割引現在価値計算Ⅰ				5
	2	第2章現金預金Ⅰ、第4章商品売買Ⅰ、第5章固定資産Ⅰ				5
	3	第14章税効果会計、第15章有価証券Ⅰ				5
	4	第12章社債				5
	5	第4章商品売買Ⅰ、第10章純資産Ⅰ				4
	6	第10章純資産Ⅰ、第15章有価証券、第16章保険金Ⅰ				4
	7	第7章貸倒Ⅰ、第17章減損会計Ⅰ、第18章繰延資産Ⅰ				4
	8	第2回確認テスト				4
		科目単位数		2	合計時間数	36
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す 講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	財務諸表論Ⅰ－Ⅱ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	会計原理・企業会計原則・企業会計の諸基準・会社法・会社計算規則等の知識を元に、報告書として作成する財務諸表の作成方法及び考え方の習得を目的とする。					
到達目標	規則に基づいた構成要素の分類・用語・様式によって企業外部へ報告するための財務諸表を作成できる。財務諸表に示された数字の分類及び各構成要素について解釈できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第13章税金Ⅰ、第15章社債、第16章有価証券Ⅰ				5
	2	第7章固定資産Ⅱ、第18章株主資本Ⅰ				4
	3	第10章給料等、第13章税金Ⅰ、第15章社債、第16章有価証券Ⅰ 第19章株主資本Ⅱ				4
	4	第14章税効果会計Ⅰ				4
	5	第1章財務諸表作成の基礎、第8章固定資産Ⅲ、第19章株主資本Ⅱ、第2				4
	6	第23章固定資産Ⅴ、第24章貸倒れⅡ				4
	7	第6章固定資産Ⅰ、第17章有価証券Ⅱ				4
	8	第2回確認テスト、第17章有価証券Ⅱ				4
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	簿記論基礎Ⅱ－Ⅰ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織の知識を元に、財務諸表作成の基礎となる企業の取引を会計帳簿に記録する方法の習得を目的とする。					
到達目標	企業の取引を識別・分類・計算し、取引の仕訳や財務諸表の作成ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章現金預金Ⅱ、第2章退職給付会計Ⅱ、第3章外貨建会計Ⅰ				3
	2	第2章退職給付会計Ⅱ、第3章外貨建会計Ⅰ、第4章割賦販売				3
	3	第3章外貨建会計Ⅰ、第5章新株予約権付社債Ⅰ、第6章リース会計Ⅰ				3
	4	第7章試用販売Ⅰ				3
	5	第8章本支店会計、第9章商品売買Ⅱ				3
	6	第3章外貨建会計Ⅰ、第7章試用販売、第8章本支店会計Ⅰ				3
	7	第5章新株予約権付社債、第10章圧縮記帳Ⅰ、第11章資産除去債務Ⅰ				4
	8	第3回確認テスト				4
		科目単位数	1	合計時間数	26	
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	財務諸表論基礎Ⅱ－Ⅰ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	会計原理・企業会計原則・企業会計の諸基準・会社法・会社計算規則等の知識を元に、報告書として作成する財務諸表の作成方法及び考え方の習得を目的とする。					
到達目標	規則に基づいた構成要素の分類・用語・様式によって企業外部へ報告するための財務諸表を作成できる。財務諸表に示された数字の分類及び各構成要素について解釈できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章外貨建取引Ⅰ、第3章固定資産Ⅳ、第4章繰延資産、第5章税金Ⅱ				3
	2	第2章外貨建取引Ⅱ、第6章退職給付会計Ⅱ				3
	3	第7章棚卸資産Ⅲ、第8章固定資産Ⅶ				3
	4	第6章退職給付会計Ⅱ				3
	5	第6章退職給付会計Ⅱ、第9章金融商品応用項目Ⅰ				3
	6	第10章外貨建取引Ⅲ				3
	7	第7章棚卸資産Ⅲ、第11章会計上の変更等Ⅰ				4
	8	第3回確認テスト				4
		科目単位数		1	合計時間数	
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	後期	
授業科目	簿記論基礎Ⅱ-Ⅱ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修	
授業概要	複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織の知識を元に、財務諸表作成の基礎となる企業の取引を会計帳簿に記録する方法の習得を目的とする。						
到達目標	企業の取引を識別・分類・計算し、取引の仕訳や財務諸表の作成ができる。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	第8章本支店会計Ⅰ、第11章資産除去債務Ⅰ 第12章委託販売・受託販売Ⅰ				3	
	2	第13章組織再編会計Ⅰ				3	
	3	第6章リース会計Ⅰ、第14章連結会計Ⅰ				4	
	4	第3章外貨建会計Ⅰ、第14章連結会計Ⅰ、第15章製造業会計Ⅰ				4	
	5	第16章会計上の変更等Ⅰ、第17章キャッシュ・フロー計算書Ⅰ 第18章有価証券Ⅱ				4	
	6	第4回確認テスト				4	
	7	第13章組織再編会計Ⅰ、第19章ソフトウェアⅡ、第20章減損会計Ⅱ				4	
		科目単位数		1	合計時間数		26
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集						
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す 講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う						
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	財務諸表論基礎Ⅱ-Ⅱ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	会計原理・企業会計原則・企業会計の諸基準・会社法・会社計算規則等の知識を元に、報告書として作成する財務諸表の作成方法及び考え方の習得を目的とする。					
到達目標	規則に基づいた構成要素の分類・用語・様式によって企業外部へ報告するための財務諸表を作成できる。財務諸表に示された数字の分類及び各構成要素について解釈できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第12章製造業会計、第13章研究開発費				3
	2	第14章新株予約権・新株予約権付社債				3
	3	第2章外貨建取引Ⅱ、第15章ストック・オプション				4
	4	第3章固定資産Ⅵ				4
	5	第16章キャッシュ・フロー計算書				4
	6	第4回確認テスト				4
	7	第17章株主資本Ⅲ				4
		科目単位数			1	合計時間数
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	簿記論応用Ⅰ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織の知識を元に、財務諸表作成の基礎となる企業の取引を会計帳簿に記録する方法の習得を目的とする。					
到達目標	企業の取引を識別・分類・計算し、取引の仕訳や財務諸表の作成ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章帳簿組織Ⅰ				6
	2	第2章キャッシュ・フロー計算書Ⅱ、第3章固定資産Ⅱ				6
	3	第4章ストック・オプションⅠ、第5章連結会計Ⅱ				6
	4	第6章税効果会計Ⅱ				6
	5	第7章収益認識Ⅰ、第8章本支店会計Ⅱ、第9章金利スワップⅠ				5
	6	第4章ストック・オプション、第10章建設業会計、第11章ソフトウェアⅢ				5
	7	第12章リース会計Ⅱ				5
	8	第5回確認テスト				5
		科目単位数		2	合計時間数	44
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す 講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介	建設・土木系企業の経理職 2年					

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	財務諸表論応用Ⅰ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	会計原理・企業会計原則・企業会計の諸基準・会社法・会社計算規則等の知識を元に、報告書として作成する財務諸表の作成方法及び考え方の習得を目的とする。					
到達目標	規則に基づいた構成要素の分類・用語・様式によって企業外部へ報告するための財務諸表を作成できる。財務諸表に示された数字の分類及び各構成要素について解釈できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章外貨建取引Ⅳ、第2章組織再編会計Ⅰ				6
	2	第3章分配可能額				6
	3	第4章税効果会計Ⅱ				6
	4	第5章連結会計				5
	5	第5章税効果会計				5
	6	第3章連結会計、第6章固定資産Ⅸ				5
	7	第7章金融商品応用項目Ⅱ				5
	8	第5回確認テスト				5
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	簿記論応用Ⅱ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織の知識を元に、財務諸表作成の基礎となる企業の取引を会計帳簿に記録する方法の習得を目的とする。					
到達目標	企業の取引を識別・分類・計算し、取引の仕訳や財務諸表の作成ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章簿記の概要Ⅱ～第5章組織再編会計Ⅱ				11
	2	第6章帳簿組織Ⅱ、第7章収益認識Ⅱ				11
	3	第8章連結会計Ⅲ～第10章社債Ⅱ				10
	4	総合問題演習				10
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	財務諸表論応用Ⅱ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	会計原理・企業会計原則・企業会計の諸基準・会社法・会社計算規則等の知識を元に、報告書として作成する財務諸表の作成方法及び考え方の習得を目的とする。					
到達目標	規則に基づいた構成要素の分類・用語・様式によって企業外部へ報告するための財務諸表を作成できる。財務諸表に示された数字の分類及び各構成要素について解釈できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章税効果会計Ⅲ、第2章組織再編会計Ⅱ				11
	2	第3章財務諸表等規則に基づく財務諸表～第5章会計上の変更等Ⅱ				11
	3	第4章純資産、第7章収益認識				10
	4	第6章連結会計Ⅲ				10
		科目単位数		2	合計時間数	42
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	演習・講義	講義時期	通年
授業科目	PC活用(Excel基礎)		担当者	中村 学	科目必修区分	必修
授業概要	情報化社会において、コンピュータを使った情報処理のスキルと知識は、日々の勉強や仕事だけでなく、日常生活でも活用の場は多い。本講義では表計算ソフト(Excel)の基本的な機能を学び、就職後にその機能を活用できる人財を目指す。					
到達目標	データ入力やグラフ機能、データベース機能等の基本操作ができる。 表計算や複数シートの操作方法など、効率よくデータを活用して資料の作成編集ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	Excelの基礎知識(Excelとは)、起動方法、ショートカット作成、画面構成等				2
	2	セルの選択方法:アクティブセル、範囲選択、行列の選択、Shift、CTRLの活用				2
		データの入力:数値データと文字データの違い、修正方法、効率の良い入力方法				
	3	セルの表示形式について:日付、パーセントスタイル、桁区切りスタイルなど				2
		データの操作について:移動、コピー、削除。行、列の操作(挿入や削除など)				
	4	相対参照、絶対参照について:相対参照と絶対参照のポイント、違いなど				2
		関数について:関数の基礎知識を学ぶ。関数の種類(3級出題範囲)				
	5	統計関数について:基礎知識を学ぶ。統計関数の利用(SUM関数、AVERAGE関数)				2
		統計関数の利用(COUNT関数、COUNTA関数)				
	6	グラフについて①:グラフの基礎知識、作成の方法、移動、サイズの調整など				2
		グラフについて②:種類の変更、構成要素の追加、書式設定、スパークラインなど				
	7	データベースについて:基礎知識、入力補助機能、並べ替え、フィルタ、トップテンなど				2
		図形、ワードアートの挿入、書式設定など				
	8	練習問題①～⑩				4
9	模擬問題①～⑥				4	
10	練習問題(2016バージョン)②～⑥				8	
11						
12						
13						
	科目単位数			2	合計時間数	30
教科書	Excel®表計算処理技能認定試験 3級問題集(2016対応)					
時間外学習	授業時間内未消化問題の演習					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度		学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校			
学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年	授業方法	演習・講義	講義時期	後期
授業科目	PC活用(Word基礎)	担当者	上原 千佳	科目必修区分	必修
授業概要	情報化社会において、コンピュータを使った情報処理のスキルと知識は、日々の勉強や仕事だけでなく、日常生活でも活用場は多い。本講義ではワープロソフト(Word)の使い方だけに留まらず、表計算ソフト(Excel)との連携方法なども学び、ビジネス文書作成の高度な技術を学習・就職後にも活用できる人財を目指します。				
到達目標	Word基本機能を使用し、ビジネス文書に関する基本的な実践的技能で業務処理を効率化することが出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	Wordの基礎知識(Wordとは)、起動方法、ショートカット作成、画面構成等			1
		データの入力:日本語用フォント、英数字用フォント、フォントサイズ・スタイル・下線の確認			
	2	データの入力:文字の効果(文字の塗りつぶし・輪郭・影・反射・光彩・ぼかし・3-D書式			1
		データ入力:フォントの色、文字飾り、文字幅と間隔、文字と効果、囲み線、文字の網掛けの活用、囲み線、文字の網掛け			
	3	拡張書式、段落書式:文字の均等割り付け、配置(右揃え、中央揃え、左揃えなど)			1
		段落書式:インデント、行間・段落間隔、体裁(改行時の処理、文字幅と間隔)			
	4	タブとリーダー:タブの配置(左揃え、中央揃え、小数点揃え、縦線、右揃え)、種類、設定とクリア			1
		ファイルについて:新規作成、開く、閉じる、上書き保存、名前を付けて保存			
	5	ページのレイアウト:ページ設定(用紙サイズ、余白、文字数と行数、印刷の向き、ヘッダーとフッターの用紙の端からの距離			1
		印刷:印刷設定、印刷プレビュー			
	6	文書編集(テキスト編集):選択と解除(文字、行、段落、文書全体の選択)			1
		文書編集(テキスト編集):キー操作(Enter、Delete、BackSpaceの役割、Ctrl、Alt、Shiftの基本的な役割)			
	7	文書編集(テキスト編集):文字列の削除、切り取り、コピー、貼り付け、挿入、元に戻す、やり直し、繰り返し			1
		文字編集(テキスト編集):クリックアンドタイプ、書式のコピー／貼り付け、書式のクリア、改ページの挿入と削除			
	8	文書編集(ヘッダーとフッター):ヘッダー・フッターの編集／削除、ページ番号			1
		罫線と表(表):表の作成、文字列を表にする、表の解除、表の選択(セル、行、列、表の選択)、セル間の移動			
	9	罫線と表(表のデザイン):表のスタイル、セルの塗りつぶし、飾り枠、罫線を引く、削除、水平線			1
		罫線と表(表のレイアウト):行、列の挿入と削除、行の高さ、列の幅、セルのサイズ、セルの結合／分割、セル内の文字列と配置			
	10	罫線と表(オブジェクトの作成):画像、図形、ワードアート、テキストボックス			1
		罫線と表(図形の書式):図形のスタイル、図形の編集、テキスト(文字の配置)、サイズ			
	11	罫線と表(図の書式):図のスタイル、サイズ			1
		罫線と表(配置／整列):位置、文字列の折り返し、前面／背面へ移動、オブジェクトの選択と表示、回転／反転、オブジェクトの貼り付け			
	12	練習問題①～③			8
	13	模擬問題①～⑦			11
		科目単位数		2	合計時間数
教科書	Word文書処理技能認定試験 3級問題集(2021対応)				
時間外学習	授業時間内未消化問題の演習				
	各種タイピングソフトを利用したタイピング練習の実施。				
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	演習・講義	講義時期	通年
授業科目	志学Ⅱ		担当者	中村 学	科目必修区分	必修
授業概要	教育理念に掲げられた「人財」を目指し、人間性を磨き各自の「志」について思考する事を通して、社会人として働くうえで知識・技術だけではなく豊かな人間性を兼ね備えた学生の育成を目的とする。					
到達目標	・良い影響を受け(感化され)、自らのあり方を考える事が出来る ・知行合一、学んだことをもとに考え、伝え、共に行動する意義に気づく					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	志学Ⅱ 序章				2
	2	志学Ⅱ 第1章 志とは				2
	3	志学Ⅱ 第2章 「志」高く生きた人に学ぶ				2
	4	志学Ⅱ 第3章 感化力(よい影響を受ける力)				2
	5	志学Ⅱ 第4章 考える力(「知行合一」を高める力)				4
	6	志学Ⅱ 第5章 私の志				2
	7	まとめ				2
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
			科目単位数	1	合計時間数	16
教科書	KBC学園 志学Ⅰ・Ⅱ					
時間外学習	・世界の動き、日本の課題、若者の意識などのデータや情報と向き合う ・先輩(大人)や同世代の考え・意識に触れ、自分自身を振り返る					
成績評価方法	出席率20p・授業態度20p・毎回の授業レポート60pとし、学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	演習・講義		講義時期	前期
授業科目	特別活動演習		担当者	上原 千佳		科目必修区分	必修
授業概要	教育理念に掲げる「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。						
到達目標	・学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。 ・自発的に考え行動し、幅広い分野で活躍できる。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	【ビーチパーティ】 大原・エルケア合同のビーチパーティ					6
	2	【親睦会】 大原・エルケア・kbc合同の全体スポーツ大会					6
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
				科目単位数	0	合計時間数	12
教科書							
時間外学習	各授業・行事における事前準備や調べ学習を指示。						
	前後の各実施委員会活動						
成績評価方法	各授業・行事終了後のレポートでの到達目標達成度にて評価を行う						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 2年		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	消費税法実務基礎		担当者	上原 千佳	科目必修区分	必修
授業概要	消費税は、商品や製品などの販売やサービスの提供などの取引に対して広く公平に課税される税金であり、消費税法は実務上最も身近な税法といえます。本講義では、消費税額の計算手続き(一般課税・簡易課税制度)を身につけることを目的とします。					
到達目標	国内取引の課税対象取引を適切に判定し、区分して計算することができる。 確定申告書の作成一巡を何も見ずに書くことができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	ガイダンス、1-1消費税法の概要				3
	2	2-1課税の対象				6
	3	3-1非課税				6
	4	4-1輸出免税等、6-1資産の譲渡等の時期				3
	5	9-1控除対象仕入税額(一部)				3
	6	16-1売上げに係る対価の返還等、17-1貸倒れが生じた場合、 9-2課税仕入れの範囲				3
	7	9-3課税仕入れ等の時期(一部)、8-1課税売上割合(一部)				3
	8	8-2課税期間における課税売上高、9-1控除対象仕入税額(一部)				3
	9	5-1納税義務の免除、9-5課税仕入れ等の分類(一部)				3
	10	9-5課税仕入れ等の分類(一部)				3
	11	第1回確認テスト、15-1簡易課税制度(一部)				3
	12	15-1簡易課税制度(一部)				3
	13	21-1軽減税率、24-2 2割特例				3
	14					
	15					
			科目単位数	3	合計時間数	45
教科書	資格の大原 税理士講座 消費税法 テキスト・問題集					
時間外学習	復習:授業当日に実施した範囲のテキストの例題の確認。(20分程度)					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介	税理士事務所歴4年・経理、総務事務歴1年					

シラバス

令和8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 3 年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	簿記論総合 I		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織の知識を元に、財務諸表作成の基礎となる企業の取引を会計帳簿に記録する方法の習得を目的とする。					
到達目標	企業の取引を識別・分類・計算し、取引の仕訳や財務諸表の作成ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1回実力判定公開模擬試験				10
	2	第2回実力判定公開模擬試験				10
	3	第3回実力判定公開模擬試験				10
	4	第4回実力判定公開模擬試験				10
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制3年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	財務諸表総合Ⅰ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	会計原理・企業会計原則・企業会計の諸基準・会社法・会社計算規則等の知識を元に、報告書として作成する財務諸表の作成方法及び考え方の習得を目的とする。					
到達目標	規則に基づいた構成要素の分類・用語・様式によって企業外部へ報告するための財務諸表を作成できる。財務諸表に示された数字の分類及び各構成要素について解釈できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1回実力判定公開模擬試験				10
	2	第2回実力判定公開模擬試験				10
	3	第3回実力判定公開模擬試験				10
	4	第4回実力判定公開模擬試験				10
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 3 年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	簿記論総合Ⅱ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織の知識を元に、財務諸表作成の基礎となる企業の取引を会計帳簿に記録する方法の習得を目的とする。					
到達目標	企業の取引を識別・分類・計算し、取引の仕訳や財務諸表の作成ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	直前対策講義				12
	2	過去問演習				17
	3	第1回直前対策模擬試験				6
	4	第1回プレ模擬試験				6
	5	第2回直前対策模擬試験				6
	6	第2回プレ模擬試験				6
	7	第3回直前対策模擬試験				6
	8	ヤマ当て講義				6
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制3年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	財務諸表論総合Ⅱ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	会計原理・企業会計原則・企業会計の諸基準・会社法・会社計算規則等の知識を元に、報告書として作成する財務諸表の作成方法及び考え方の習得を目的とする。					
到達目標	規則に基づいた構成要素の分類・用語・様式によって企業外部へ報告するための財務諸表を作成できる。財務諸表に示された数字の分類及び各構成要素について解釈できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	直前対策講義、過去問演習				12
	2	直前対策講義、過去問演習				12
	3	第1回直前対策模擬試験				6
	4	第1回プレ模擬試験				6
	5	第2回直前対策模擬試験				6
	6	第2回プレ模擬試験				6
	7	第3回直前対策模擬試験				6
	8	ヤマ当て講義				11
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 3年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	簿記論総合Ⅲ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	複式簿記の原理、その記帳・計算及び帳簿組織の知識を元に、財務諸表作成の基礎となる企業の取引を会計帳簿に記録する方法の習得を目的とする。					
到達目標	企業の取引を識別・分類・計算し、取引の仕訳や財務諸表の作成ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	全国統一公開模擬試験				10
	2	第1回直前予想模擬試験				10
	3	第2回直前予想模擬試験				10
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制3年		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	財務諸表論総合Ⅲ		担当者	中田 由美	科目必修区分	必修
授業概要	会計原理・企業会計原則・企業会計の諸基準・会社法・会社計算規則等の知識を元に、報告書として作成する財務諸表の作成方法及び考え方の習得を目的とする。					
到達目標	規則に基づいた構成要素の分類・用語・様式によって企業外部へ報告するための財務諸表を作成できる。財務諸表に示された数字の分類及び各構成要素について解釈できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	全国統一公開模擬試験				10
	2	第1回直前予想模擬試験				10
	3	第2回直前予想模擬試験				10
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	資格の大原 税理士講座 テキスト・問題集					
時間外 学習	講義前:学習計画表にて学習項目を確認、テキストに目を通す					
	講義後:学習計画表の宿題欄に沿って学習を行う					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		建設・土木系企業の経理職 2年				

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 3年		授業方法	演習	講義時期	前期
授業科目	税法入門Ⅰ		担当者	上原 千佳	科目必修区分	必修
授業概要	法人税法は、企業の利益に対する課税ルールを学ぶ科目である。本講義では、会計と税務の違いを踏まえ、所得金額および税額の計算構造を体系的に理解する。益金・損金や各種論点を理論と計算の両面から学習し、別表四を中心とした申告調整の考え方を身につけることで、税理士試験および実務に対応できる力を養成する。					
到達目標	・法人税の基本的な仕組みと課税所得の計算構造が説明できる。 ・主要な論点(益金・損金等)について基礎的な計算ができる。 ・会計と税務の違いを踏まえ、簡単な申告調整が説明できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	ガイダンス 納税義務者と課税所得の範囲 会社計算と税務計算の調整				10
	2	交際費等の損金不算入Ⅰ(基本計算) 減価償却Ⅰ(限度額計算の基礎)				8
	3	減価償却Ⅱ(期首簿価、認容) 受取配当等の益金不算入Ⅰ(基本計算)				8
	4	寄附金の損金不算入Ⅰ(基本計算) 有価証券Ⅰ(取得価額)				8
	5	租税公課等及び納税充当金Ⅰ(基本計算) 租税公課等及び納税充当金Ⅱ(損金算入時期) 別表四の作成				8
	6	減価償却Ⅲ(付随費用、中古、通算、譲渡・除却、無形)				8
	7	第1回確認テスト(一発合格)(75分) 法人税額の計算の基礎 使途秘匿金の支出がある場合の課税の特例				10
	8					
	9					
	10					
		科目単位数		4	合計時間数	60
教科書	資格の大原 法人税法 計算テキスト・計算問題集・理論テキスト・理論問題集					
時間外 学習	講義前:学習項目の事前確認及び予習(テキスト、問題集等)					
	講義後:学習項目の見直し、復習(テキスト、問題集等)					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		税理士事務所歴4年・経理。総務事務歴1年				

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 3年		授業方法	演習		講義時期	前期
授業科目	税法入門Ⅱ		担当者	上原 千佳		科目必修区分	必修
授業概要	消費税法は、取引に対して広く課される間接税の仕組みを学ぶ科目である。本講義では、課税の対象や納税義務者、課税・輸出免税・非課税・課税対象外の取引区分、仕入税額控除の基本構造を中心に学習する。取引の流れと税額計算の関係を理解し、基礎的な問題を通じて消費税の仕組みを体系的に捉え、税理士試験および実務の基礎力を養成する。						
到達目標	・消費税の基本的な仕組みと課税の流れが説明できる。 ・課税、輸出免税、非課税、課税対象外の取引区分が正確に判定できる。 ・本則課税および簡易課税による税額計算ができる。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	ガイダンス 消費税法の概要 理論：問題9－2〔1〕～〔3〕、9－3〔1〕〔2〕〔4〕〔5〕					8
	2	課税の対象 理論：問題1－2〔1〕〔2〕〔4〕					9
	3	非課税 理論：問題1－1〔1〕(1)(2)①～③、〔2〕〔3〕(1)(2)(8)(9)〔4〕(2)(3)、1－3					9
	4	輸出免税等 資産の譲渡等の時期 控除対象仕入税額(その1) 理論：問題1－4、1－5、9－7					9
	5	売上げに係る対価の返還等 貸倒れが生じた場合 課税仕入れの範囲 理論：問題7－13、7－15、9－3〔3〕					9
	6	課税仕入れ等の時期 課税売上割合(その1) 課税期間における課税売上高 控除対象仕入税額(その2) 理論：7－1〔1〕〔2〕〔4〕〔5〕					9
	7	第1回確認テスト 課税売上割合に準ずる割合 理論：問題7－1〔3〕、8－2、8－3、9－2〔4〕〔5〕					8
	8						
	9						
	10						
		科目単位数		4	合計時間数		61
教科書	資格の大原 消費税法 計算テキスト・計算問題集・理論テキスト・理論問題集						
時間外学習	講義前：学習項目の事前確認及び予習(テキスト、問題集等) 講義後：学習項目の見直し、復習(テキスト、問題集等)						
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介	税理士事務所歴4年・経理。総務事務歴1年						

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 3年		授業方法	演習	講義時期	後期
授業科目	税法基礎Ⅰ		担当者	上原 千佳	科目必修区分	選択
授業概要	法人税法は、企業の利益に対する課税ルールを学ぶ科目である。本講義では、会計と税務の違いを踏まえ、所得金額および税額の計算構造を体系的に理解する。益金・損金や各種論点を理論と計算の両面から学習し、別表四を中心とした申告調整の考え方を身につけることで、税理士試験および実務に対応できる力を養成する。					
到達目標	・法人税の基本的な仕組みと課税所得の計算構造が説明できる。 ・主要な論点(益金・損金等)について基礎的な計算ができる。 ・会計と税務の違いを踏まえ、簡単な申告調整が説明できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	貸倒損失				6
	2	貸倒引当金Ⅰ(概要、個別評価、一括評価)				6
	3	減価償却Ⅳ(資本的支出・修繕費) 欠損金Ⅰ(欠損金の繰越控除)				8
	4	収用等Ⅰ(収用等の特別控除) 貸倒引当金Ⅱ(一括評価金銭債権の額、個別評価と一括評価の関係)				8
	5	減価償却Ⅴ(少額、譲渡・除却(一括部分)、特別償却・特別控除) 受取配当等の益金不算入Ⅱ(控除負債利子)				8
	6	有価証券Ⅱ(譲渡原価) 交際費等の損金不算入Ⅱ(帰属) 寄附金の損金不算入Ⅱ(帰属) 租税公課等及び納税充当金Ⅱ(帰属) 外貨建取引				8
	7	有価証券Ⅲ(期末評価) 所得税額控除 受取配当等の益金不算入Ⅱ(特別分配金)				8
	8	第2回確認テスト(理論＋計算90分) 租税公課等及び納税充当金Ⅲ(過大引当・引当不足・還付税金)				8
	9					
	10					
		科目単位数		4	合計時間数	
教科書	資格の大原 法人税法 計算テキスト・計算問題集・理論テキスト・理論問題集					
時間外学習	講義前:学習項目の事前確認及び予習(テキスト、問題集等)					
	講義後:学習項目の見直し、復習(テキスト、問題集等)					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		税理士事務所歴4年・経理。総務事務歴1年				

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 3年		授業方法	演習	講義時期	後期
授業科目	税法基礎Ⅱ		担当者	上原 千佳	科目必修区分	選択
授業概要	消費税法は、取引に対して広く課される間接税の仕組みを学ぶ科目である。本講義では、課税の対象や納税義務者、課税・輸出免税・非課税・課税対象外の取引区分、仕入税額控除の基本構造を中心に学習する。取引の流れと税額計算の関係を理解し、基礎的な問題を通じて消費税の仕組みを体系的に捉え、税理士試験および実務の基礎力を養成する。					
到達目標	・消費税の基本的な仕組みと課税の流れが説明できる。 ・課税、輸出免税、非課税、課税対象外の取引区分が正確に判定できる。 ・本則課税および簡易課税による税額計算ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	仕入れに係る対価の返還等、納税義務の免除 理論：2－1、7－5、7－6				7
	2	課税売上割合(その2) 中間申告に係る納付税額の計算 理論：問題2－2〔1〕〔2〕〔4〕〔5〕、7－3				7
	3	国境を越えた役務の提供 理論：問題1－1〔1〕(1)(2)④〔3〕(3)～(7)〔5〕、1－2〔3〕、2－1〔1〕(1)、7－1〔1〕〔5〕(4)、7－5〔1〕〔2〕〔4〕、7－14、9－5				7
	4	課税仕入れ等の分類 理論：7－2、9－3〔6〕				8
	5	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例 理論：問題7－4				8
	6	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整 理論：問題7－7、7－8				8
	7	特定期間における課税売上高による納税義務の免除の特例 相続があった場合の納税義務の免除の特例 合併があった場合の納税義務の免除の特例 理論：問題2－3、2－4、2－5				8
	8	第2回確認テスト 理論：問題2－2〔3〕、8－5				7
	9					
	10					
		科目単位数		4	合計時間数	60
教科書	資格の大原 消費税法 計算テキスト・計算問題集・理論テキスト・理論問題集					
時間外学習	講義前：学習項目の事前確認及び予習(テキスト、問題集等) 講義後：学習項目の見直し、復習(テキスト、問題集等)					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		税理士事務所歴4年・経理。総務事務歴1年				

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 3年		授業方法	演習		講義時期	後期
授業科目	税法演習Ⅰ		担当者	上原 千佳		科目必修区分	選択
授業概要	法人税法は、企業の利益に対する課税ルールを学ぶ科目である。本講義では、会計と税務の違いを踏まえ、所得金額および税額の計算構造を体系的に理解する。益金・損金や各種論点を理論と計算の両面から学習し、別表四を中心とした申告調整の考え方を身につけることで、税理士試験および実務に対応できる力を養成する。						
到達目標	・法人税の基本的な仕組みと課税所得の計算構造が説明できる。 ・主要な論点(益金・損金等)について基礎的な計算ができる。 ・会計と税務の違いを踏まえ、簡単な申告調整が説明できる。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	国庫補助金等(圧縮記帳、特別勘定の設定) 別表五(一)Ⅰの作成					6
	2	圧縮記帳の概要Ⅰ(減価償却と圧縮記帳の関係) 収用等Ⅱ(圧縮記帳、特別勘定の設定) 欠損金Ⅱ(欠損金の繰戻しによる還付)					6
	3	役員判定・役員給与Ⅰ(同族会社の判定、役員・使用人兼務役員の判定)					6
	4	役員判定・役員給与Ⅱ(基本計算) 使用人給与Ⅰ(特殊関係使用人給与の取扱い)					6
	5	特定資産の買換え(圧縮記帳、特別勘定の設定) 交際費等の損金不算入Ⅲ(交際費等と他の費用の区分、接待飲食費)					6
	6	交際費等の損金不算入Ⅳ(原価に算入された交際費等の調整) 減価償却Ⅵ(特別償却準備金)					6
	7	減価償却Ⅶ(償却限度額の特例) 保険差益(圧縮記帳、特別勘定の設定) 別表五(一)Ⅱの作成					6
	8	第3回確認テスト(一発合格)(理論＋計算90分) 圧縮記帳の概要Ⅱ(特別勘定設定後の圧縮記帳)					6
	9	外国税額控除 外国子会社から受ける配当等の益金不算入 外国税額控除と外国子会社配当等の益金不算入との関係 減価償却Ⅷ(固定資産の取得価額)					6
	10	みなし配当金Ⅰ(概要、自己株式の取得に伴うみなし配当) 圧縮記帳の概要Ⅲ(先行取得)					6
	11	資本等取引Ⅰ、Ⅱ(自己株式、計数変動) 役員判定・役員給与Ⅲ					6
	12	交換差益(交換差益金の圧縮記帳) 役員判定・役員給与Ⅳ 使用人給与Ⅱ(使用人賞与の損金算入時期) 別表五(二)の作成					6
	13	リース取引(賃借人の取扱い) 資本等取引Ⅲ(自己株式の消却・譲渡)					6
	14	繰延資産 寄附金の損金不算入Ⅲ(寄附金に該当しないもの)					6
	15	第4回確認テスト(一発合格)(90分) みなし配当金Ⅱ(資本の払戻し)					5
	16	ガイダンス 租税公課等及び納税充当金Ⅳ(控除対象外消費税額等の取扱い) 確定決算型					5
	17	グループ法人税制Ⅰ(概要、完全支配関係、受取配当等、譲渡取引等、寄附金、受贈益、寄附修正)					6
	18	資産の評価損益 欠損金Ⅲ(債務免除等があった場合の欠損金の損金算入)					6
	19	グループ法人税制Ⅱ(寄附金・受贈益の関連、中小特例・中小企業者等の範囲、発行法人譲渡)					6
		科目単位数		4	合計時間数		112
教科書	資格の大原 法人税法 計算テキスト・計算問題集・理論テキスト・理論問題集						
時間外 学習	講義前:学習項目の事前確認及び予習(テキスト、問題集等)						
	講義後:学習項目の見直し、復習(テキスト、問題集等)						
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介		税理士事務所歴4年・経理、総務事務歴1年					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 3年		授業方法	演習		講義時期	後期
授業科目	税法演習Ⅱ		担当者	上原 千佳		科目必修区分	選択
授業概要	消費税法は、取引に対して広く課される間接税の仕組みを学ぶ科目である。本講義では、課税の対象や納税義務者、課税・輸出免税・非課税・課税対象外の取引区分、仕入税額控除の基本構造を中心に学習する。取引の流れと税額計算の関係を理解し、基礎的な問題を通じて消費税の仕組みを体系的に捉え、税理士試験および実務の基礎力を養成する。						
到達目標	・消費税の基本的な仕組みと課税の流れが説明できる。 ・課税、輸出免税、非課税、課税対象外の取引区分が正確に判定できる。 ・本則課税および簡易課税による税額計算ができる。						
授業計画	内 容						授業時間数
	1	会社分割などがあった場合の納税義務の免除の特例 特殊項目(その1) 新設法人の納税義務の免除の特例 理論:問題2-6、2-7、2-8					7
	2	特定新規設立法人の納税義務の免除の特例 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整 特殊項目(その2) 理論:問題2-9、7-10					7
	3	課税標準 理論:問題1-1 [1](3)、[4](1)、6-1					7
	4	簡易課税制度					7
	5	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算 理論:問題7-11[1][2](1)①(2)[3]～[6]、7-12、8-1					7
	6	第3回確認テスト 特殊項目(その3) 理論:2-10、7-11[2](1)②③④(2)、9-9					7
	7	居住用賃貸建物を課税賃貸用に供した場合等の仕入税額控除の調整 2割特例 理論:7-9、9-10					7
	8	特殊項目(その4) 軽減税率 複数税率の場合の計算パターン 理論:問題5-1、6-2					7
	9	国等に対する特例 理論:問題9-4					7
	10	計算問題集2-2総合問題第3問 理論:問題3-1、4-1、9-1					4
	11	計算問題集2-2総合問題第5問 理論:問題8-6、9-6					4
	12	計算問題集2-2総合問題第8問 理論:問題8-4、問題9-3[7][8]					4
	13	税理士試験対策					33
				科目単位数	4	合計時間数	108
教科書	資格の大原 消費税法 計算テキスト・計算問題集・理論テキスト・理論問題集						
時間外 学習	講義前:学習項目の事前確認及び予習(テキスト、問題集等)						
	講義後:学習項目の見直し、復習(テキスト、問題集等)						
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介		税理士事務所歴4年・経理、総務事務歴1年					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 3年		授業方法	演習・講義	講義時期	前期
授業科目	特別活動演習Ⅲ		担当者	上原 千佳	科目必修区分	必修
授業概要	教育理念に掲げる「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。					
到達目標	・学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。 ・自発的に考え行動し、幅広い分野で活躍できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	【ビーチパーティ】 大原・エルケア合同のビーチパーティ				6
	2	【親睦会】 大原・エルケア・kbc合同の全体スポーツ大会				6
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
		科目単位数		0	合計時間数	
教科書						
時間外学習	各授業・行事においての事前準備や調べ学習を指示。					
	前後の各実施委員会活動					
成績評価方法	各授業・行事終了後のレポートでの到達目標達成度にて評価を行う					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 8 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 3年		授業方法	講義・演習	講義時期	前期	
授業科目	PC会計実務		担当者	上原 千佳	科目必修区分	必修	
授業概要	本講義では、これまで習得した簿記の知識・技術を生かして、より実務に近い形式で会計データを作成できる技術を身に付けることを目的としています。						
到達目標	コンピュータの基本操作ができる。 電子会計データを使い、証憑書類から仕訳を起こすことができる。 電子会計実務検定試験3級に合格できる。						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	ガイダンス、コンピュータの基本操作				2	
	2	第1章 企業活動と会計処理 第2章 会計ソフトの操作(基礎知識)				6	
	3	第3章 企業の基幹業務と会計処理 第4章 税金に関する業務と会計処理(基礎編)				8	
	4	第5章 会計データの入力処理と集計 第6章 月次決算に関連する業務と会計処理				8	
	5	追補 労働保険の事例研究 電子会計実務検定試験3級 模擬問題				6	
		科目単位数				2	合計時間数
教科書	コンピュータ会計基本テキスト 弥生株式会社出版						
時間外 学習	復習:授業当日に実施した範囲のテキストの例題の確認。(20分程度)						
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	実務家		備考				
実務経験紹介		税理士事務所歴4年・経理、総務事務歴1年					

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 3年		授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	税理士実務概論		担当者	上原 千佳	科目必修区分	必修
授業概要	本講義では、税理士業界で活躍する人財に求められる「企業の財務状況を読み取り、顧問先に説明・助言できる力」の基礎として、実在企業の財務分析に取り組む。馴染みのある上場企業の財務諸表から企業の特性を捉える視点と、プレゼンテーションによる発信力を養うことを目的とする。					
到達目標	・実在する企業の財務諸表の読み方や経営指標を使い財務分析ができる。 ・財務諸表及び業界の特色など数字以外の情報も踏まえ、企業の特徴を説明できる。 ・他者と協働して調査・分析・資料作成を行い、成果を発表できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1回 財務研修(外部講師担当) ・税理士業務について ・なぜ財務を学ぶのか ・損益計算書及び貸借対照表の構造と財務指標				4
	2	第2回 財務研修(外部講師担当) ・変動損益計算書の構造 ・資金繰りの仕組み				4
	3	スライド作成、電子メール作成、プレゼンテーションの方法 プレゼンテーション準備				10
	4	中間発表(外部講師担当)				4
	5	プレゼンテーション準備				4
	6	プレゼンテーション、総評(外部講師担当)				4
		科目単位数			2	合計時間数
教科書	第1回財務研修、第2回財務研修 レジюме					
時間外学習	税理士業界や財務分析企業の最新情報収集					
成績評価方法	到達目標達成度にて評価を行う					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		研修企業(キムタカ税理士法人)				

シラバス

令和 8 年度

学校名: 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	総合ビジネス科3年制 3年		授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	企業研修		担当者	企業担当者	科目必修区分	選択
授業概要	・学校で学んだ知識や技術を現場で再確認し、「現場での実践」を体験する事で自身の学習の不足部分や実務能力を高める機会とする。 ・学生生活とは異なる社会人としてのあるべき姿を、現場の方々のご指導や助言をもとに学び、自己課題を明確に出来る機会とする。					
到達目標	・研修先の業界の特徴を3項目以上挙げられる。 ・研修内容を整理し、課題を発見する事が出来る。 ・次段階の目標を設定し、実行の計画を立案する事が出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	研修前学習1 ①働くことの意義 ②社会での企業の役割 ③社会人基礎力の理解 ④研修先企業の情報収集				3
	2	研修前学習2 ①接遇マナーの再確認(演習) ②研修先業種・職種の専門業務知識の理解 ③個人情報について ④守秘義務について ⑤研修に必要な書類作成・準備				4
	3	企業研修2【業務補助型研修】 学校で学んだ知識や技術をもとに現場での業務の補助業務を行う				330
	4	企業研修3【業務参画型研修】 実践的な実習でこれまでの経験をもとに自身の課題点を振り返り、改善を行うと共に企業側への提案等を行う				3
	5					
	6					
		科目単位数			4	合計時間数
教科書	KBC学園 就職活動の進め方					
時間外学習	新聞等においてニュース記事の情報収集 研修先業界の最新情報収集					
成績評価方法	コミュニケーション・職業意識・接遇マナー・業界理解の4項目について3段階評価を実施 4項目評価の平均点が2.1～【優】1.1～【良】1【可】 80%以下の出席【不可】					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		各研修企業(大城眞徳税理士事務所等)				